

2021年度 第4回広報委員会 議事録

日 時 2022年1月19日(水) 13:30～17:00
 会 場 WEB会議
 出席者 11名(欠席:姫野委員)

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
沖縄	野原 早織	東京	○ 大和 親英	高知	都築 弘典
北海道	姫野 芳安	愛知	橘 恭浩	鹿児島	○ 田中 拓
神奈川	酒井 錦吾	奈良	辰巳 嘉敏		

<担当副会長> 山口 史朗

<事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:金澤 亨、特命部長:大谷 隆(記)

<オブザーブ> 新日本保険新聞社 金井氏、毎栄 小松氏

:委員長、 :副委員長

<委員会での決定事項>

- ・全国広報委員会の開催候補日を選定(3月実施)
- ・PR企画動画コンペに向けた事前打合せを行う
- ・Aチーム(代協の魅力を伝えるツール検討)MTGの開催

議 事

・挨拶

1. 委員長挨拶

- ・1月1日に特設サイトがオープンしました。視聴回数が順調に進んでおり嬉しく思っている。後ほど詳細については触れるが本日時点で約3万回視聴されており衝撃的な数値となっている。
- ・今回はリアルで開催できと思っていたが、まさかのオミクロン蔓延で残念ながら今回も画面越しでの会議となってしまったが、2022年新時代が幕開けしたので、広報委員会の底力を改めて発揮していきたい。
- ・今年度最後の委員会となるので、悔いのない討議を進めていきたい。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に大和副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有事項

1. 第6回 理事会報告

事務局より、配布した第6回理事会および第3回全国会長懇談会議案書の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・審議事項は「2022年度日本代協事業計画の検討」「日本代協アカデミーのコンテンツ充実計画案」「2022年度仲間づくり推進入会目標ガイドライン案」「仲間づくり推進入会・増強Wキャンペーンの実施」「2022年度第39次PIASの中止」の5項目について審議され、承認された。

- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員会委員長より報告があった。

理事会翌日、全国会長懇談会が開催され会員規模による6つのグループに分かれ事業計画推進について討議を行った。

2. 前回委員会の振り返り

前回の広報委員会論議内容、決定事項を議事録で確認した。

・審議事項

1. 「みなさまの保険情報」保険の推進

(1) 「みなさまの保険情報」推進について(Bチーム)

橋リーダーより昨年末に実施したアンケート結果と活用推進案が報告された

- ・対象 120 名であったが回答率は約 6 割。認知度 96%が知っている、66.7%が活用している等回答者のほとんどが活用していると回答している(記名式だったこともある)が、未回答者はほぼ活用していないと思われる。
- ・全国の会長、日本代協委員ですら、この程度の活用状況であり、このままでは全国の会員への普及は期待できない。
- ・対策案として、各県代協リーダーに活用することの価値を伝える、情報誌の価値を上げる、お客さまからの評価を聞く、活用する利益を生み出す、インフルエンサーの発掘を検討する必要があると思う。
- ・提案だが、年度内に広報委員会全国大会を開催し趣旨をしっかりと伝えたらどうか。内容のリニューアルについては次年度以降の検討事項としたらどうか。

全国広報委員会の開催について意見を求めた

- ・3月開催では時間的にタイトではないか、現メンバーは6月の理事会までが任期なので4月、5月でもいいのではないか。
- ・4月以降にした場合、任期目前での全国委員会に意味があるのか。新任広報委員が決まっていれば参加してもらおうのも一つである。
- ・開催時期がいつになっても、しっかり後任に引き継ぐ必要がある(すでに引継ぎ資料を作っている)。
- ・(野原委員長)3月末までに行いたい。

野原委員長の強い意向を受けて、3月中の会議室スケジュールを連携して日程を決定することとなった(参加者は、現委員だけでなく、後任候補者が決まっていればオブザーブ参加してもらおう)。

(2)2022年4月号 企画案

- ・新日本保険新聞社の金井氏より、「みなさまの保険情報」2021年4月号の企画案が提示された。1面の保険業界のテーマについて、以下の3案が提示された。

「金融(保険)リテラシーを高める意識を持ってもらう」 「ハザードマップ啓発ムービー(マルの追憶) 「自動車の逆走防止」

特に意見が無く多数決により、提案された3案の中から「金融(保険)リテラシーを高める意識を持ってもらう」を取り上げることで決定した。

- ・2面以降は意見無く、提案内容で決定。

(3)今後の推進

- ・次回お知らせチラシの執筆担当は野原委員長であることを確認した。

- ・1月号の購入状況と購入率を確認した(5%目標に対し3.7%と前回より減少)。

2. 2021年度PR企画情宣状況報告

毎栄 小松氏よりPR企画の制作総括と情宣状況報告が下記の通りあった。

制作総括

- ・広報委員の皆さんの協力で、大きなトラブルなく予定通り進行できた。出来栄もイメージ通りのものを作り上げることができた。
- ・WEB-CMはインパクトがあり、かつユーモラスな部分がある中で秒数も短く気軽に視聴いただけると思う(没になった第二弾も考えていた)。
- ・アシスト動画は想定より少し長くなったが、時間的ストレスが無い作りになっていると思う。

今後の予定について

- ・YouTube インストリーム広告を1/17~1/23で配信。年齢・性別に関係なく、保険への関心が高まっているペルソナに対してYouTube広告によるアプローチを試みる。
- ・4種類のWEB-CMの広告の効果を見て、調整し2/7~3/31に再度配信していく予定。

アクセス分析報告について

- ・特設サイトの報告指標として、ユーザー数、セッション数、平均滞在時間、流入経路を月別のグラフにして報告します。
- ・WEB-CM、アシスト動画の報告指標は、視聴回数、総再生時間、導線別視聴回数を月別グラフにて報告します。
- ・1/19時点での動画視聴回数、アシスト 300回、紫式部、聖徳太子 32,000回、杉田玄白 18,000回、織田信長 3,800回。この結果を受けて、広告配信のウエイトを変えることを検討。
- ・広告の配信は3月末までで、配信が終了すると視聴回数は減ってくる傾向にある。したがって、各代協のHPにバナーを貼っていただくとか、地方紙への出稿の際にPRしていただく、名刺QRコードの活用等、広報委員の皆さまにお願いしたい。

(主な意見・質問)

- ・広告内容の変更(サムネイルの変更)に費用は掛かるのか? 費用掛からず
- ・配信広告を意図的に見ることはできるのか? 手段はないです

3. 2022年度PR企画について

2022年度PR動画作成について意見交換を行った

(野原委員長より)

- ・今回(2021年度)の動画作成にあたり初めて業者向け事前ヒアリングを行い日本代協の意向をしっかり伝えたくてコンペに諮り、業者を決定したことで効果が大きかったと実感している。次回も事前ヒアリングを行いたいと思っている

(主な意見)

- ・事前ヒアリングは、これからも続けた方がコンペに参加する業者にとってもいいことだと思う。昨年までの47都道府県代協が関わった動画に比べ、今回は全体の盛り上がりにかけた気がする。
- ・YouTubeの視聴回数を見ても、過去の動画とは比べ物にならないくらいの伸び方をしており、事

前ヒアリングをしたことにより業者がイメージを掴んだ成果だと思う。過去のは、どちらかというと業者任せだったような気がした。今後については代協側から条件(方向性)をはっきり示して、その枠内で知恵を絞って提案してもらう形の方がいいと思う。

- ・ある程度の方向性を示すためには、事前ヒアリングが必要だと思う。
- ・今年は具体的な要望を伝えることができたので、描いた形が出来たと思うし、動画は好評であり継続していくことは必要だと思う。その上で、どのようなオーダーをしていくのかを広報委員会の中で論議していかないといけない。
- ・今回は広告配信の効果に驚いているが、アシスト動画(4 分間)を視聴してもらうため、もう一步踏み込まなければならないと思う。また、事前ヒアリングによりプレゼン業者の迷いがなくなり精度があがったが、過去はゼロベースでプロである業者に提案してもらうのがこの企画なのではないかという意見もあった。
- ・これまでの 47 都道府県代協が作成した過去の動画につき、各広報委員にヒアリングをしたところ「大変だった」との回答が多く、その結果、視聴回数が伸びていないことに対する不満も聞こえてきている。今回は視聴回数を上げることをしっかり伝えたので、まずはクリアできており、この後は広報委員による草の根運動で広く普及させなければならないと思う。ここを次年度以降業者とも話していく必要がある。
- ・過去、BS 放送に取り上げてもらうなど試行錯誤を繰り返してきた。その動画の配信方法は時代の流れで変化していくので、プロの業者に指導受けながら進めていきたいが、我々の思い・目的は変わらないので、そのアプローチの仕方を考えていくことが重要なポイントだと思う。
- ・PRなので、見てもらわなければ話にならない、何をってもらうのか、の二点がポイントになるのではないかと。方向性を広報委員会の中で決めて業者に伝える、もしくは外部に任せて知恵を出していくという考え方もあるので、委員長を中心に広報委員会としてベストであるかを討議すべきではないか。技術論、方法論は目的達成のための方法として決めていけばいいかと思う。
- ・、会員がお客さまにどうやって見てもらうか、会員増強にも使うべきであり、そこも考えていく必要があると思う。
- ・ここにいる広報委員の皆さんが分かっていないことでも業界の関係の人たちはもっとわかっていることがあるかもしれないので、こちらから投げたいいくつかのテーマについて違った見方をされるのではないかと。ただ、今の3~4社では、あまり新たな見方が出さずプレゼン能力の高い業者に引っ張られてしまうので参画業者を増やした方がいいのではないかと。

全体の意見を受けてPR動画作成の打合せを行うことを決定し、スケジュールを調整する。

4. 代協の魅力を伝えるツール活用

野原委員長より現状のYouTubeチャンネルの運用状況について報告があった。

- ・対外的に日本代協HPに載せているチャンネル(一般社団法人 日本損害保険代理業協会)と体内向けのチャンネル(日本代協チャンネル)がある。
- ・日本代協チャンネルには各委員会の動画を掲載する(現状は企画環境委員会の動画が数種類アップされている)。

Aチームにて、YouTubeチャンネルだけでなく日本代協HPに掲載されているツールを整理して提供する討議を行っていく。

(主な意見)

- ・各代協では三冠王の重要項目として仲間づくりを推進しているが、それに関連するツールを広報委員会で作ったらどうだろうか。

(野原委員長)各委員会に関連したツールを整理整頓して目次を作る作業をしていきたいと考えている。

- ・事務局職員研修でも紹介されたが、各都道府県の好事例を共有することで、代協の魅力を伝える近道になると思うし、YouTube チャンネル再生リストの整理が必要である。
- ・外側だけの PR だけでなく、他の委員会をサポートする取組みをしていきたい。
- ・各代協の委員会でも良いツールを作成しているので、広報委員会が委員会横断で横ぐしをさせるような運営をして行けたらと思う。

(小見常務より補足)

- ・諮問事項に上げられているのは、もっと対内的(仲間に気づいてもらう)に魅力を伝えられるツールを整理する、ことが前提となっている。例えば大阪代協が作っているテーマごとにQRコードが掲載されているチラシのようなイメージである。

・閉会・その他

1. その他・情報提供

- ・正会員実態調査に協力いただき感謝します。63.5%と過去にない回答率であった。残念ながら3割台にとどまった代協が2代協あったが、これが今の各代協のガバナンス力そのものだと思っている。結果については報告書を作って共有する。
- ・事業継続力強化計画は三冠王の項目にもなっているが、損保代理店には必須の項目であることは明らかであり、まずは自社が取得して顧客へ提案できるような体制を作って欲しい。
- ・リスクマネジメント講座もスタートするが、残念ながら動機付けセミナーの受講が107名に留まっている。改めて、全会員に情宣するので確認していただきたい。
- ・日本代協事務局が入居しているビルが建て替えになるので次年度事務所移転がある。
- ・MS社はメタバース入社式を行って評判が良かった。今後メタバースにスポットが当たってくと思うので、情報をいただきたい。

2. 本日の到達点の確認

- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

3. 山口副会長閉会挨拶

- ・昨年のことになるが、12月のセミナーでは迷惑をかけてしまいお詫びいたします。
- ・正会員実態調査については、組織委員会を中心に全国の皆さんが熱い想いで、今回の実態調査の重要性を理解頂いたうえで、責任感を持って一件一件当たっていただいた結果であると思う。改めて感謝いたします。今回の結果はしっかりと熱を持って意味を理解して力を合わせて取り組んでいけば結果につながるという好取組事例になったのではないかなと思う。
- ・現メンバーでの委員会残り僅かであるが、今回素晴らしいPR動画を作っただき、全国の広報委員を集めて委員会を開くことも楽しみにしているので、野原委員長を中心に2年間の総仕上げとして取り組んでいただきたい。
- ・代協の魅力を伝えるツールの討議の中で、委員長から目次という発言があったが、そのイメージ

でいいと思う。そもそも、会員増強は各都道府県代協の経営につながるものであるので、自分たちの経営として、どのように会員を増やしていくかという観点から様々なツールをそろえたり、様々な活動をしたりすることは当然のことである。日本代協 広報委員会としては各都道府県代協の好取組事例、多くのツールをパッケージにして、わかりやすく提供できるようにしていくことが大事な使命だと思っているので、今後の取り組みに期待している。

・本日は、大変お疲れさまでした。

以上

次回開催日 2022年4月6日(水)13:30～17:00